

# 生物多様性を高める森林経営の実践

## 活動場所

北海道広尾郡大樹町ほか



## 活動目的

里山的な積極的伐採による経営を通じて、生物多様性を向上させながら森林の事業収支と永続性を確保する

## 活動内容

活動：北海道十勝地域と静岡県天竜地域で合計450haの森林を経営

- ・100年程度の循環周期で資源が永続する伐採・収穫を実行、事業的な収支の永続性も追求
- ・伐採することで多様な森林構造を作り出し、生き物の生息環境を多様化することを意識（里山的経営）
- ・生物多様性の具体的姿は景観に現れると考え、鳥や動物を含め景観を楽しめる気持ち良い森を目指す

体制：森林の所有の形として、令和2年、一般財団法人史春森林財団を“非営利徹底型”で設立

- ・定款で、目的に「生物多様性の高い森林経営」を掲げる
- ・近い将来、この財団に山林資産を移して公益的永続経営を計画（さらに公益財団化も想定）
- ・大樹町バイオマスボイラー導入計画の策定を担当し、その中で上記経営方針を明記（別紙参照）

⇒ OECM認証基準1.~4.（IUCN-WCPA Task Force on OECMs, 2019）をクリアしていると認識

- ・3年前から「帯状皆伐更新」「間伐時の作業土場→小面積皆伐天然更新」などで上記経営方針を実行中

## PRしたいポイント

- ◎生物多様性を森林の経営方針として定款に明記
- ◎積極的伐採・収穫（事業収支）→多様な森林構造→生物多様性の現れとしての景観（里山的経営）

## 活動効果、今後の展開 等

- 生産基盤としての作業道＝景観・多様な生き物との出会いを楽しむための散策路
- 木材の地産地消、観光的活用、猟区経営への展開

（株）ログウェル日本・（財）史春森林財団

<http://www.logw-n.com/> <http://www.tees.ne.jp/~notose2/>